

令和5年度第1回大船渡市学校支援活動運営委員会

日時 令和5年7月13日(木) 午後3時～午後3時45分
場所 大船渡市役所 議員控室
出席者 運営委員会委員 5名
高橋多鶴子委員、高橋昭英委員、梅澤聖史委員、菅原優子委員、
紀室浩委員
大船渡市
生涯学習課：課長、課長補佐、主事
中央公民館：館長補佐、主任
学校教育課：指導主事

[会議内容]

1 開 会

2 挨拶 課長

3 学校支援活動運営委員会委員及び関係職員の紹介

4 委員長及び副委員長の選任

大船渡市学校支援活動運営委員会設置要綱第4第1項の規定により、委員長及び副委員長は互選によることとされているため、選任方法を諮ったところ、事務局案を求められた。

事務局案として、委員長に高橋多鶴子委員、副委員長に紀室浩委員として選任することを提案したところ、異議なく承認された。

5 協 議

第1号 令和5年度大船渡市地域学校協働本部事業内容及び評価項目について
事務局より、別紙資料のとおり説明し、意見を諮った。

〈意見・質疑応答〉

【英語スクール、家庭教育学級、青少年体験学習事業について】

- ・ (菅原委員) 家庭教育学級の事業概要について、「保育園・こども園4園を対象に」とあるが、幼稚園は対象ではないのか。
 - (中央公民館) 幼稚園も対象である。「保育園等」または「保育園・こども園・幼稚園」が適切な表記である。次回からは適切に表記する。
- ・ (菅原委員) 家庭教育学級の実施について、今年度、海の星幼稚園が該当するが、市からの案内が今年4月にあったと伺った。幼稚園では次年度の計画を1月にたてるため、せめて2、3月頃に案内があれば、現場の先生たちも対応しやすい。
 - (中央公民館) 今後、対象のところへは、事前に連絡するようにする。
 - 小・中学校においても、保育園等と同じく3年に1回の割合で実施することとなり、日程調整等の調整不足があった。今年度から、「令和5年度参考資料」の1ページに記載の「4 実施ローテーション」のとおり進めることとする。

- ・ (高橋(昭)委員) 家庭教育学級について、昨年度、大船渡中学校で希望したテーマが採用されなかった。テーマの選定に柔軟な対応を求める。
- (中央公民館) 学校及び保護者の希望に沿えるよう、今後、柔軟な対応をとる。
- ・ (紀室委員) 青少年体験学習事業のドローンプログラミング体験教室など、とても素晴らしい事業を行っていると感じた。英語体験教室はいつから実施しているのか。
- (中央公民館) 実施のきっかけは、気仙広域連合主催の英語教室に落選した人たちのフォローのためであり、平成30年度から実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により先生が集まれない等の理由で中止になった。市内のネイティブの先生を講師にした現在の形は、令和3年度から実施している。
- ・ (紀室委員) 英語やプログラミングなど、学校でも重視していかなければならない学習のフォローはとてもありがたい。昨年度は、定員以上の応募があったとのこと。積極的に応募した子どもたちも、参加への声掛けをした親も素晴らしい。
英語体験教室に係る予算は不足しなかったのか。
- (中央公民館) 英語体験教室において、最初は1回分の予算しかなかったが、実績もあったので、次年度からは2回分の予算がついた。

【スクールガード配置事業、学校支援事業について】

- ・ (菅原委員) スクールガード配置事業について、スクールガードに年齢制限はあるのか。
- (生涯学習課) 年齢制限等の採用基準はなく、「決められた時間に来て、学校の先生が任せられると判断」すれば採用する。ただ、高齢等の理由により子どもの見守りが困難な方は遠慮願いたい。
- ・ (菅原委員) 添乗型スクールガードに、見守りに係るマニュアルは配布しているのか。最近では、送迎用バスに置き去り防止装置の設置が努力義務化されている。
- (生涯学習課) 当課で現在、添乗型スクールガード用のマニュアルは作成していない。当市で添乗型スクールガードは、赤崎小学校の1人のみであり、バスの運転中に児童が立ち歩かないよう監視する。また、スクールバスについては、学校教育課が担当のため、置き去り防止等の対策については後程確認する。

6 その他

- ・ (梅澤委員) 学校支援活動運営委員会委員も家庭教育学級等を見学することは可能か。
- (中央公民館) 事前に連絡をいただければ、見学可能である。
- ・ 事務局から、第2回運営委員会の開催を10月に予定している旨、報告。

7 閉会